

2024 年度

文学部 一般選抜 R 方式【小論文型】

サンプル問題

次の文章を読んで【共通問題】と【選択問題】(選択①から選択⑤の中から一題を選ぶこと)に解答しなさい。(10点)

ペリー艦隊の黒船はいずれも軍艦で、多くの大砲を搭載していた。また、夜明けに空砲が撃たれることもあり、東京湾の沿岸地帯は異常な緊張感に包まれることになった。浦賀奉行所の与力が記した記録には、浦賀の町で住民たちが騒ぎ立て、なかには荷物を持って浦賀町から逃れる人もあらわれたと記されている。また、江戸では黒船からの砲撃によって品川辺りが焼き払われるであろうとの噂が流れた。「泰平の眠りをさます上書撰(蒸気船) たった四盆(四艘)で夜も寝られず」と落首に歌われた黒船騒動の始まりである。

東京湾に居座り続けるペリーに対し、幕府は諸大名に出陣を命じ、旗本に対しても動員令を発動した。また、東京湾沿岸地帯の村々では多くの農民や漁民が警備に徴発された。交渉の窓口となった浦賀奉行は、浦賀では交渉に応じられないので艦隊を長崎に回航してほしいと要求した。しかし、ペリーは国書を手渡すまでは東京湾を退去しないと主張し、最終的に幕府は、久里浜村(横須賀市)で国書を受理することになった。こうして、目的を達したペリーは、翌年再び来航することを幕府に告げ東京湾を去っていった。

一八五四年二月二日(嘉永七年一月一五日)、ペリーは九艘の黒船を率いて、再び東京湾に姿をあらわした。

翌日、早くも東京湾の奥深くに艦隊を進めた。ペリーは、幕府との交渉を開始し、東京湾は大きな喧嘩に包まれた。しかし、再度の艦隊の出現に戸惑いながらも、人々の黒船に対する恐怖心はしだいに薄らいでいった。たとえば、「海外新話」の写本を作成した関口東作は、二月一六日に、友人二人と小船に乗って黒船見物に出かけている。

彼の日記には、「異国船見物に行った」と記されているだけであるが、緊迫した状況が続く中、彼の好奇心の強さには驚くばかりである。また、この頃から東作以外の人々も続々と黒船見物をするようになり、この地域では黒船見物のブームが到来した。ペリー艦隊に随行した主席通訳官サミュエル・ウエルズ・ウィリアムズは、こうした状況を「奇妙な外輪船を見物しようと、男も女も乗り込んだ小船を繰り出し、その多くはビスケットや品物を投げれば届くほどの間近によって来た」と記し、多くの日本人が黒船を見物したと伝えている。

さらに、こうした好奇心は、二月下旬以降、ペリー艦隊の乗組員が日米和親条約を締結するため、横浜村(現在の横浜市中区の海岸部)に上陸するようになると一層強まっていった。また、三月に入り、乗組員と農民たちが直接接触するようになると、外国人への興味はいやがうえにも高まった。さらに、幕府全権とペリーが日米和親条約を締結したのは三月三十一日のことであったが、この間、警備に当たる武士や通訳の中には乗組員と親しく交際するものもあらわれ、人々の「国際化」は急激に進むことになった。

ペリー艦隊乗組員の中でもっとも日本人に親しまれたのは、中国人の羅森であった。中国人の場合、筆談をすれば日本人と意思を通わせることができ、多くの日本人が羅森と親しく交際した。しかし、残念ながら羅森の履歴については、よく分かっている。わずかに広東の出身で、ペリーが二度目に日本に来航した際に、友人から日本に一緒に行つて欲しいと頼まれ、通訳官兼書記として艦隊の乗組員となったことが分かっているにすぎない。

しかし、日本人と親しく交際したため、日本側の記録の随所に彼の名前を見ることがができる。また、彼は、帰国後、香港の新聞に「日本日記」と題した日本遠征記録を発表し、この記録は東京大学史料編纂所が『幕末外国関係文書』附録一に収録している。(中略)

ペリー艦隊の乗組員が初めて横浜に上陸したのは二月二五日のことで、羅森も、この頃から度々横浜に上陸するようになった。横浜の旧家石川家には、ペリー来航に関する古記録が残されているが、この古記録の三月一日(旧暦の二月二三日)の項に「羅森が時々横浜に上陸した」と記されている。また、彼が弁髪であること、詩文が達者で字がうまいことが記され、羅森が作った漢詩が七首記録されている。

一方、ペリー艦隊来航時に警備に当たった小田原藩士の手紙にも同様の記述があり、羅森が日本人の求めに応じて、扇子に即興の詩を書いてくれたと述べている。また、「日本日記」には羅森が記した即興詩が扇子五〇〇本以上に達したとあり、彼がかなりの数の日本人と関係を持ったことを伝えている。羅森と交際した日本人の中で具体的に名前が判明しているのは、幕臣や横浜村の名主など数人だけである。しかし、羅森と交流した人々が、

武士だけでなく上層の農民たちにまで及んでいたことは間違いない。

また、羅森の名前は、わずかの間に日本人の間に広まり、羅森はペリー艦隊乗組員の中でもっとも著名な人物の一人になっていった。たとえば、幕末の志士たちの思想に大きな影響を与えた吉田松陰は、伊豆下田において、ペリー艦隊のポーハタン号に秘かに乗船し、羅森の上司であるウィリアムズと会っている。回顧録によれば、松陰は筆談でウィリアムズと話し合い、アメリカへ行きたいと述べている。また、松陰は、この時羅森に会いたいと要求している。松陰が羅森と会ってなにをしたのか具体的には分からない。しかし、この事件から、当時、長州藩の一藩士にすぎなかった松陰にまで羅森の名前が伝わっていたことを知ることができる。

(西川武臣・伊藤泉美『開国日本と横浜中華街』による)

### 【共通問題】

【共通】 傍線部C「こころした好奇心」はどのようなものか。一〇〇字以内で説明しなさい。

(解答例) 幕府と米国との交渉は緊迫した状況であったが、関口東作や多くの日本人が、次第に黒船への恐怖心が薄らぎ、小舟に乗って奇妙な外輪船である黒船見物をしたいと考え、ペリー艦隊に至近の距離まで近づくような好奇心。(一〇〇字)

### 【選択問題】

【選択①】 傍線部A「黒船騒動」について次の年表(記されている用語は適宜用いて構わない)を踏まえて二〇〇字以内で説明しなさい。

一八五六 ハリス、初代アメリカ総領事として下田に駐在。

一八五八 井伊直弼、大老に就任。

日米修好通商条約調印。

安政の大獄

一八六〇 桜田門外の変

五品江戸廻送令

### (解答例)

日米和親条約締結後、通商条約を結ぶため、ハリスが来日し、幕府と交渉を始めた。難局打開のため、井伊直弼が大老に就任し、勅許を得ずに日米修好通商条約に調印した。これに反対した大名、武士達に対し、幕府は厳しい弾圧を行った。これを安政の大獄という。この措置に反感を持った武士達により、井伊直弼は桜田門外で暗殺された。貿易が始まると輸出超過となって物価が高騰し、幕府は五品江戸廻送令を出したが、効果がなかった。(二〇〇字)

【選択②】 傍線部B「ペリーは、幕府との交渉を開始し」とあるように、アメリカが度々黒船を率いて幕府と交渉した理由について次の年表(記されている用語は適宜用いて構わない)と地図を踏まえて二〇〇字以内で説明しなさい。

一八四五 テキサス併合

一八四六 イギリスとオレゴン協定を締結、オレゴン州併合。

一八四六〜一八四八 アメリカメキシコ戦争、カリフォルニア、ニューメキシコ等割譲させる。

一八四八 カリフォルニア州でゴールドラッシュ

一八五六〜一八六〇 アロー戦争、英仏連合軍、清朝軍を破り、天津条約、北京条約を締結。



\* 「井を棄てる」 井戸をどれほど深く掘っても、水の湧き出るところまで行きつかずに止めてしまえば、井戸を棄ててしまったことと同じであること。

これを踏まえて、あなたの勉強や研究に対する考え方を二〇〇字以内で述べなさい。

(解答例)

安政の大獄で若くして落命した吉田松陰の生涯を象徴するような言葉である。死んでも後悔することがない前進というのとはなかなか経験することが難しいと思われるが、大学入学前の受験勉強でも、努力の結果としてこうした前進は可能なのだと思われる。大学入学後は、自分で選択した専門をいくらでも学べるので、松陰が述べている前進を遂げられるようにしたい。卒業までの四年間、「井を棄てる」ことがないよう学び続けようと考えている。(二〇〇字)

選択⑤

以下の文はペリーが提出した当時のアメリカ大統領フィルモアによる日本国の君主への国書である。日本に対して何を求め、どのような心配を取り除こうとしているのか、さらにその結果として国にどのような利益をもたらそうと考えているのか、二〇〇字以内で説明しなさい。

If your imperial majesty is not satisfied that it would be safe altogether to abrogate the ancient laws which forbid foreign trade, they might be suspended for five or ten years, so as to try the experiment. If it does not prove as beneficial as was hoped, the ancient laws can be restored. The United States often limit their treaties with foreign States to a few years, and then renew them or not, as they please.

(『大日本古文書 幕末外国関係文書之1 嘉永6年6月~7月』による)

※以下の(日本語訳)、(解答例)は受験勉強の便宜のために付けています。

(日本語訳) もし外国貿易を禁止する古来の法律を廃止してしまっても安全であることに皇帝陛下が納得されない場合は、実験を試みるためにその法律の5年または10年間の停止があり得るかも知れません。期待されたほどの利益がないとわかったら、古来の法律を復活させることが可能です。合衆国は外国との条約を数年に制限し、それから更新するかそうしないかは相手国が望むように決めることが多いのです。

(解答例) 日本に海外貿易を禁止する法律を廃止することを求めている。5年、もしくは10年経っても利益が得られなかった場合、その法律を復活させても良いので、貿易を解禁して不利益が生じて、それが永久に続く心配は無いと述べ、日本側の不安を取り除こうとする。アメリカと日本が条約を結んでも数年後に見直し更新の可否を自由に決められるとする。以上のように日本と貿易を行う条約を締結し、貿易での利益をもたらすことを考えている。

(二〇〇字)